

損保ジャパンとX Mile、物流業界の「2024年問題」解決に向けた業務提携を開始 ～全国の代理店網を通じた紹介スキームにより、物流特化型ソフトウェア・AI『ロジポケ』を展開～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）と、ノンデスク産業向けのソフトウェア・AI や人材プラットフォームを提供するX Mile 株式会社（代表取締役 CEO：野呂 寛之、以下「X Mile」、読み：クロスマイル）は、物流業界が直面する「2024年問題※1」をはじめとする経営課題の解決および交通事故削減に向けた業務提携（以下「本提携」）を開始しました。

本提携により、全国にある損保ジャパンの代理店網から紹介を受けた物流事業者に対し、X Mile が物流特化型ソフトウェア・AI『ロジポケ』を特別プランで提供するスキームを全国で2026年11月から開始します。

※1 2024年問題：働き方改革関連法に基づき、2024年4月1日から「自動車運転の業務」に対し、年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されたことに伴い発生する、物流業界の諸問題（労働時間短縮によるドライバーの収入減少や、運送会社の売上減少、輸送能力の不足など）。

1. 本提携の背景・目的

物流業界においては、時間外労働の上限規制適用に伴う「2024年問題」により、労働環境の改善や法令遵守を含めた労務管理の適正化が急務となっています。

また、事業の持続可能性を高めるためには、安全運行管理の徹底による交通事故の削減（リスクマネジメント）が不可欠です。

損保ジャパンは、これまで自動車保険等を通じて物流事業者のリスクマネジメントを支援してきました。本提携は、その一環として、物流業界のDXに強みを持つX Mileのソリューションを、代理店を通じて広く案内することで、物流事業者の「労務管理のDX化」と「安全運行」を後押しし、業界全体の持続的な成長を支援することを目的としています。

2. X Mile 株式会社および提供サービスについて

（1）X Mile 株式会社について

「テクノロジーの力でノンデスクワーカーが主役の世界を」をビジョンに掲げ、物流・建設・製造などの領域で働く「ノンデスクワーカー」が主役となる産業の課題解決を目指すスタートアップ企業です。業界特化型のDX・AIプラットフォーム事業や人材プラットフォーム事業を展開し、レガシー産業のDXを強力に推進しています。

（2）経営・業務管理クラウドサービス『ロジポケ』について

『ロジポケ』は、物流事業者の経営課題をオールインワンで解決するソフトウェア・AI サービスです。

主な機能：安全教育管理、車両管理、乗務員台帳管理、デジタコデータ連携、労務管理（勤怠・改善基準告示対応）、案件・配車管理などです。

特徴：紙やExcelで行われていた煩雑なアナログ業務をデジタル化し、コンプライアンス遵守とバックオフィス業務の大幅な効率化を同時に実現します。（<https://logipoke.com/>）

（3）ノンデスク人材プラットフォーム『クロスワーク』について

クロスワークは、物流・運送・建設特化の人材採用システムです。登録者数は全国に120万人を超え、取引事業所数は3万事業所以上です。上場企業を含む、大手企業グループから中小企業まで幅広い導入実績があります。

また、ドライバーや施工管理、整備士など職種に特化した人材紹介サービスも提供しており、即戦力人材の確保に役立つサービスを展開しています。

（<https://x-work.jp/>）

3. 本提携におけるシナジーと先行実証について

損保ジャパンの保険代理店は、日々の保険契約管理を通じて、顧客である物流事業者の「事故発生状況」を把握しています。これにより、「事故が減らずに悩んでいる」「ドライバーへの安全教育体制が整っていない」といった根本的な課題を抱える事業者を早期に特定し、安全教育や労務管理機能に強みを持つ『ロジポケ』を、最も必要とするタイミングで効果的に提案することが可能です。

先行して実施した一部代理店での実証では、紹介を受けた事業者から「まさに課題と感じていた領域だった」との評価が多く寄せられ、導入後の定着もスムーズに進む傾向を確認しました。この結果を受け、全国の代理店網を通じた本格展開に至りました。

4. 本提携の概要および両社の役割

本提携に基づき、損保ジャパンの保険代理店が、労務・安全管理に課題を持つ物流事業者に対し、解決策の一つとしてX Mileを紹介します。両社はそれぞれの強みを生かし、以下の役割を担います。

(1) X Mileによる『ロジポケ』の提供および特別プランの適用

X Mileは、代理店から紹介を受けた物流事業者に対し、『ロジポケ』の提供および導入サポートを行います。

また、損保ジャパンの保険契約の有無にかかわらず、対象の事業者には本スキーム専用の特別プランとして、初期費用、月額費用および導入支援において優遇します。これにより、中小規模の物流事業者でも無理なく安全教育の浸透とDX化を進めることができます。

(2) 損保ジャパンによる本紹介スキームの案内・周知および事故防止支援

損保ジャパンは、物流事業者の事故削減とリスクマネジメント支援を目的に、全国の支店・代理店網に対して本紹介スキームの案内・周知を行います。具体的には、代理店向けの説明会の開催や提案ツールの提供を通じて、物流事業者の課題に応じた適切な情報を提供できる体制を整備します。

損保ジャパンはこれまで、自動車保険による補償の提供に加え、通信機能付きドライブレコーダーを活用した事業者向け事故防止サービス「スマイリングロード」など、事故を「起きてから補償する」だけでなく「未然に防ぐ」ための支援に取り組んできました。本提携は、その取組みを労務管理・安全教育の領域へと広げるものです。物流事業者が『ロジポケ』により自社の運行・労務データを可視化し、法令遵守体制と安全教育を継続的に強化していくことで、交通事故リスクの低減につなげていきます。

<代理店紹介スキームの全体像>



5. 今後の取組みについて

2026年11月から、損保ジャパンの全国の支店・代理店網において本紹介スキームの運用を一斉に開始します。まずは物流事業者への『ロジポケ』の提供を通じて、労務管理の適正化と安全教育の定着を支援します。加えて両社は、以下の取組みについても検討を進めます。

- ・ **対象領域の拡大**

物流業界に加え、バス・タクシー等の旅客運送事業者向けソフトウェア・AI『モビポケ』をはじめとするサービスの展開

- ・ **サービス連携の高度化**

『ロジポケ』と損保ジャパンが提供する事故防止支援サービスとの連携による、事業者の安全管理のさらなる高度化

- ・ **共同でのサービス開発**

安全教育・労務管理の実施状況を踏まえた、新たなリスクマネジメントの仕組みづくりに関する共同検討

両社は今後も、ノンデスク産業におけるデジタルトランスフォーメーションと、安心・安全な社会の実現に向けて協業を深めていきます。

【ご参考】

「SGP1号投資事業有限責任組合」によるX Mile 株式会社への投資実行について

https://sgpkk.com/ja/news/20260804_release_xmile

以上